

つける事ができるよう努めるとのことでした。

ここで指しているレジリエンスの要素として、次の4点を挙げられました。

- ①状況に一喜一憂しない感情コントロールする力
- ②自分を過小評価しない自尊感情
- ③自分が成長前進していると感じる事ができる自己効力感
- ④楽観性をもって事態をしなやかにこなしていく力

親離れ・子離れのために、親子の同一化から、自立に向けて徐々に親子間の距離をとり、保護者(多くは母親)一人が抱えこまず、支援のネットワークを拡大することが重要です。支援者と保護者が本人を中心に両輪として、本人を支えられるように協力しあえることが大切という講演の最後のお言葉に、育成会という大きな後ろ盾とともに、小林先生という新たな理解者(支援者)に出会えたことは大きな喜びでした。ありがとうございました。



本人活動支援「カラオケ大会」を開催しました

法人本部 主任 辻 純三子

6月21日(日)の午前中の時間を使って、メープルの5階ホールで本人活動支援の第一弾としてカラオケ大会をしました。

企画当初は、どのくらい的人数が集まるか心配でしたが、当日は10人の方と3名の付添いの方が集まりました。カラオケ大会ということもあり2時間程度でしたが、ちょうどいい頃合いの人数でした。

最初に参加された皆さんで自己紹介をした後、カラオケは1人あたり2曲くらい歌うことができました。持ち歌と熱唱される方もいれば、1つの曲を順番に全員で歌ったりと和気あいあいとした、まとまりのある雰囲気でも過ごすことができました。

また、事前には予定されていなかったお茶とおやつ差し入れもあったので、休憩タイムも取ったりして、ゆっくりとする事もできました。

他の方が歌っている時は、退屈にならないかと心配もしましたが、お越しになられた皆さんは、歌っている方の様子を見たり、今回知り合いとなった方とお話しされたりと仲間作りのキッカケの場になったような感じがしました。



次回は8月30日(日)の午前中にメープルの5階ホールでサロンをする予定です。みんなでお話しをしたり、簡単なゲームをしたり、カラオケもありますので皆さん来てください。参加する場合は、前もって参加の申し込みを事務局まで出してください。

新採用職員の初任者研修を開催しました

6月から7月にかけて今年度採用した職員に向けて初任者研修を開催しました。

従来の初任者研修では、就業規則の解説と育成会の沿革といった程度でしたが、昨年度実施したスキルアップ検討会や研修企画委員会では、親の想いを聞く機会と接遇研修の機会を含めたいということもあり、今年度は複数回実施することにしました。

ここでは、研修の内容とご報告を簡単にさせていただきます。

第1回目は「親の想いと育成会について」をテーマに掲げ、役員紹介も兼ねて実施しましたので、小泉理事長をはじめ、親の理事にも参加していただき、意見交換をしました。

普段は保護者の方と時間をかけてお話しをする機会を持つことがなかなかできませんが、保護者の立場でもあります親の理事からは、施設職員に期待すること、施設職員に気を付けてもらいたい事といった本音のご意見を伺うことができました。

参加した職員からは、日常の些細なことでも連絡帳だけに頼らず、電話や直接会ってお話しをするといったコミュニケーションの大事さ、気配りの大切さを改めて感じたという感想もありました。

第2回目は「就業規則と給与規程の解説」をテーマに開催し、事務局のスタッフが、身の上につきそうな